



上野小学校だより



令和4年10月31日
第7号
勝浦市立上野小学校
HP <http://www.chiba-a.jp/ueno-e/>

熱戦をくり広げた、ミニバス大会・サッカー大会!

一昨年、昨年は、コロナ禍の影響で人数を制限し、交流会という形で実施となったミニバス大会・サッカー大会でしたが、今年度は1地区（勝浦市・大多喜町・御宿町）の小学校9校が集まったの大会となりました。対戦は2つのブロックに分かれて、ブロックごとに優勝を決める形で行われました。上野小の選手団は、持ち前のチームワークと粘り強さを発揮し、優勝を目指して最後の1秒まで全力で戦い抜きました。試合の結果は以下の通りです。

ミニバス部 ブロック優勝

ミニバス大会は、10月7日、総野小学校を会場に行われました。全試合、70得点を越える圧倒的な試合運びで見事ブロック優勝を勝ち取りました!

① 上野小 vs 総野小 77 — 4
② 上野小 vs 布施小 74 — 12
決勝 上野小 vs 興津小 77 — 15



サッカー部 ブロック3位

サッカー大会は、10月19日、大多喜B&Gのグラウンドを会場に行われました。仲間を信じボールをつなぐ正確なパスと、果敢にゴールを狙う積極プレイで、戦い抜きました!

① 上野小 vs 大多喜小 0 — 1
② 上野小 vs 総野小 4 — 1



「JAXAはやぶさ2」見学

10月12日、全校児童がキュステに展示されている「はやぶさ2」の見学をしました。JAXA職員の方による説明を聞いた後、小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型や、小惑星「リュウグウ」で採取したサンプルの実物等を見学しました。子どもたちは興味深そうに見学し、たくさん質問をしていました。



大原高校の生徒さんによる『ひろしまのピカ』の読み聞かせと、原爆の絵の鑑賞 3～6年生

3～6年生が、大原高校の生徒さんによる読み聞かせを聞きました。絵本「ひろしまのピカ」と、紙芝居「私たちの戦争体験」です。情感のこもった読み聞かせは、静かに戦争の恐ろしさと悲惨さを子どもたちの心に訴えかけました。その後、キュステ2階に展示された絵画「原爆の図」(丸木位里・俊作)を鑑賞しました。子どもたちの感想には、平和の尊さについて考えたことが様々な言葉で書かれていました。



11

行事予定

- 1日(火) 修学旅行 箱根・河口湖方面(1日目)
- 2日(水) 修学旅行 箱根・河口湖方面(2日目)
- 3日(木) 文化の日
- 7日(月) クラブ活動
- 8日(火) 体重測定(低)
- 9日(水) おはなしすきっぷ 5年校外学習 JFE スチール千葉工場他
- 10日(木) 諸費自動払込日 体重測定(高)
- 14日(月) 生活習慣病検査(4年生)
- 17日(木) 校内マラソン大会
- 18日(金) 校内マラソン大会予備日
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 26日(土) きらきらフェスティバル(午前中)
- 28日(月) 振替休業日

12月の主な行事

- 1日(木) 全校朝会 避難訓練(火災)
- 2日(金) 勝浦中学校入学説明会(午後)
- 16日(金) 中学校体験入学(午前)
- 19日(月) 個人面談 5時間日課
- 20日(火) 個人面談 5時間日課
- 23日(金) 2学期終業式

さつまいもの収穫 ～1,2年生生活科～

1、2年生が、畑に植えたさつまいもが大きく育ち、みんなで芋ほりをしました。いろいろな形や大きさのさつまいもにみんな大喜びでした。収穫したさつまいもは、みんなで協力してぶかし芋を作っておいしく食べました。みんなで、秋の味覚を楽しみました。



日本の古典芸能に触れる ～落語の世界を味わう～

10月28日、文化芸術による子どもの育成事業として、4、5、6年生が落語に触れる体験授業を行いました。講師は、柳亭市童(りゅうていいちどう)さん、三遊亭わん丈(さんゆうていわんじょう)さんです。講師の柳亭市童さん、三遊亭わん丈さんによる落語の実演のほか、扇子や手ぬぐいを使った表現、高座に上がってのジェスチャークイズなど様々な体験をさせていただきました。お話の世界にどんどん引き込まれ「落語」のおもしろさを存分に楽しめました。子供たちからは、「いくつくらいのお話を覚えているのですか」「なぜ落語家になろうと思ったのですか」など、たくさんも質問が出されました。日本の伝統芸能である「落語」の魅力や奥深さを学ぶことができました。



入賞おめでとうございます

千葉県科学工夫作品展科学論文の部

優秀 1年 川嶋 汐さん

「わがやのごわごわタオルのひみつ」

千葉県読書感想文コンクール

佳作 4年 和佐間 杏奈さん

「あきらめない心とは何かを教えてくれた政文さん」

第33回お～いお茶新俳句大賞

佳作特別賞 6年 元吉 奏介さん「ゆずの船ぼくの気分は海ぞくだ」

